KYOTO STEAM －世界文化交流祭－　MUTEK.JP

NAQUYO－平安京の幻視宇宙－
KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP

2021年度ライブ公演
本日(11/18) チケット販売開始

※NAQUYO　読み：ナクヨ

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとする文化・芸術フェスティバルKYOTO STEAM－世界文化交流祭－では、最先端テクノロジーを用いた電子音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催するMUTEK.JPとの共同プロジェクト「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－ KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP」に取り組んでいます。

来たる12月25日(土)、2ヵ年に渡るプロジェクトの集大成となる**ライブ公演「NAQUYO Immersive Sound Live Performance**」を、ロームシアター京都サウスホールにて開催。**本公演のチケット販売を本日11月18日からスタート**します。

本公演に先立つ12月23日(木)、24日(金)には、**インスタレーション展示「NAQUYO Immersive Sound Installation**」も開催します（入場無料）。

詳しくは https://kyoto-steam.com/program/event03/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

公式WEB　京都市 CITY OF KYOTO　MUTEK.JP　文化庁 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業　ARTS for the future!　文化庁京都へ

NAQUYO Immersive Sound Live Performance

（2021.12.25.Sat.　＠ロームシアター京都 サウスホール）

ライブには、音楽・映像シーンで最先端技術を駆使してパフォーマンスを行う２組のアーティストが出演。舞台上に「平安京サウンドスケープ（音風景）」をテーマとした、イマーシブ（没入型）なインスタレーション空間を構成し、最先端の電子音楽、デジタルアート、雅楽（笙）、コンテンポラリーダンスなどを融合させたライブ・パフォーマンスを披露します。

観客席は同舞台上に設置。没入型空間の中に身を置き、全身で平安京サウンドスケープを体感していただけます。

パフォーマンスでは、最新録音技術を用いてレコーディングした、京都市内各所の寺院の梵鐘、天台声明、糺の森の自然音など、平安京をイマジネーションできる音源を使用。1200年以上の歴史をもつ京都の文化と最先端音楽技術との融合による、これまでにない、全く新しいアート・パフォーマンスを発表します。

2020年度ライブ公演の様子（撮影：井上嘉和）

【開催日時】2021年12月25日（土）14:00～16:00／18:00～20:00（各回開場30分前）

【会　　場】ロームシアター京都 サウスホール
※舞台上での鑑賞となりますので、靴を脱いでご覧いただきます。

【出　　演】Kazuya Nagaya（Music）＋Katsuhiko Orii（Shō“笙”）
Junichi Akagawa（Music, Visual）＋ nouseskou（Dance, Dramaturg）

【参加対象】小学生以上

【定　　員】各回100人限定（全席自由）

【料　　金】前売一般 1,000円／中学生以下 無料　※要証明書呈示

【販売期間】12月24日（金）19:00迄（売り切れ次第販売終了）

【購入方法】

・オンラインチケット『Gettii／ゲッティ』（24時間購入可）
https://www.e-get.jp/kyoto/pt/

・京都コンサートホール チケットカウンター　TEL. 075-711-3231

・ロームシアター京都 チケットカウンター　TEL. 075-746-3201

※中学生以下の無料チケットについては事務局にて受付
KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
TEL. 075-752-2212　FAX. 075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org
「①氏名（ふりがな）②電話番号 ③メールアドレス ④希望公演時間」を伝達

（オンライン購入）

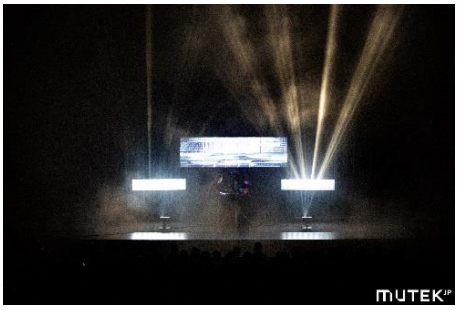
KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email : info@kyoto-steam.org
公式WEB

NAQUYO Immersive Sound Installation

（2021.12.23.Thu.,12.24.Fri.　＠ロームシアター京都 サウスホール）

かつて平安京を包みこんでいたであろう音空間を、最新の立体音響システムを用いてバーチャルに再創造します。梵鐘の音に代表される平安の音とデジタルアートを組み合わせたイマーシブ（没入型）空間に身を置き、平安京サウンドスケープを全身でご体感いただけます。

空間構成はNAQUYOアーティストであるKazuya Nagaya（Audio）とJunichi Akagawa（Visual）が共作。



【開催日時】 2021年12月23日（木）、24日（金）
各日16:30～／17:00～／17:30～／18:00～／18:30～／19:00～（鑑賞15分間）

【会　　場】 ロームシアター京都 サウスホール
※舞台上での鑑賞となりますので、靴を脱いでご覧いただきます。

【空間構成】 Kazuya Nagaya（Audio）＋Junichi Akagawa（Visual）

【参加対象】 小学生以上

【料　　金】 無料（全席自由）

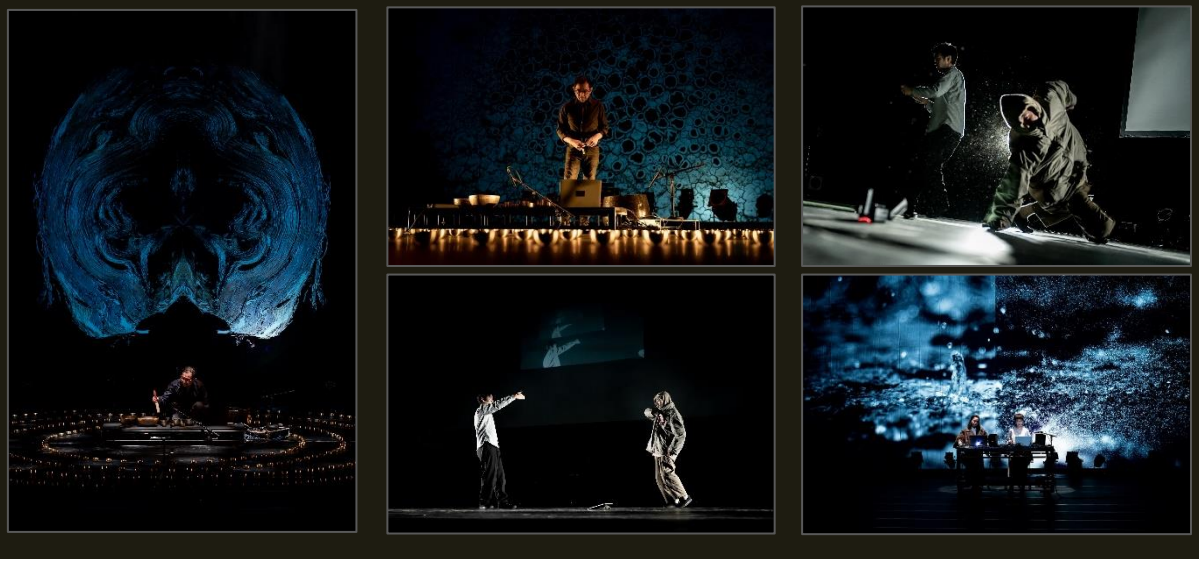
【参加定員】 各回30人（先着順）

【申込方法】 各日16:00から、現地会場にて受付開始

【制作協力】 学校法人瓜生山学園京都芸術大学 歴史遺産学科

2020年度ライブ公演「NAQUYO LIVE PERFORMANCE」

（撮影：井上嘉和）



KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org
公式WEB

出演者プロフィール

■Kazuya Nagaya（Music）＋Katsuhiko Orii（Shō“笙”）

©Janek Magnusson

Kazuya Nagaya（長屋 和哉）

これまでに12枚のアンビエントアルバムをリリース（2021年現在）。
初期の3枚「うつほ」「千の熊野」「魂は空に 魄は地に」は修験の聖地・吉野を拠点に制作された吉野３部作で、極限まで音を削り込んだ静寂の余韻を特徴としている。ストイックで凛と張りつめた気配が漂うアルバム群。その後、八ヶ岳に拠点を移し、「シークレットライム」「すべての美しい闇のために」「イリュミナシオン／冥王星」「サレントガーデン」「光の響き」「Microscope of Heraclitus」をリリース。日本、スペイン、ドイツ、イタリアのレーベルより多数のアルバムやEPをリリースする。
MUTEK.JP、MUTEK Montreal、MUTEKメキシコ、TodaysArt、Gamma Festivalなどの国内公演・ヨーロッパを中心とした海外公演に多数参加。その他、パリコレでファッションデザイナーIris Van Herpenと共演。白百合女子大学でサウンドスケープを教える。
https://www.kazuyanagaya.com/

Katsuhiko Orii（折井 克比古）

笙の独奏曲とされる「調子」と、そのあるべき様を示す「調子姿」という詞章に魅せられ笙の演奏を始める。神社の祭式、寺院の法要などで奏楽を勤める一方、近年は、広く東南アジアの少数民族に分布する笙の神話などを手がかりとして、現在の笙にゾミア的世界の構造を読み込もうとしている。また、ナゴヤ面影座の企画に笙の独奏で参加するなど、隣接する他分野との共演を試みている。

■Junichi Akagawa (Music, Visual) + nouseskou (Dance, Dramaturg)

Photo Toru Imanishi

Junichi Akagawa（赤川 純一）

オーディオビジュアルアーティスト･Ableton認定トレーナー。2010年から2013年までベルリン（ドイツ）を拠点に活動し、現在は京都在住。
Ableton Liveとmax for live、またopenFrameworksやTouchDesigner等を用い舞台作品のリアルタイム演出やインタラクティブな体験システムの設計から実装を行う。
これまで日本、ドイツ、オランダ、イスラエル、中国など国内外で公演を行い、身体、映像、音を基調としたダンス作品”Figure”では横浜ダンスコレクションEX2014にてイスラエル テルアビブ-ヤフォ･横浜文化交流賞を受賞。2017年にHz-recordsよりフルアルバム“Consistency Test”、2018年にはShrine.jpより“Dice from the Window”をリリース。2019年に文化庁メディア芸術祭とMUTEK.JPのコラボレーションイベント、2020年にはMUTEK Montrealに出演。
https://junichiakagawa.net/

nouseskou

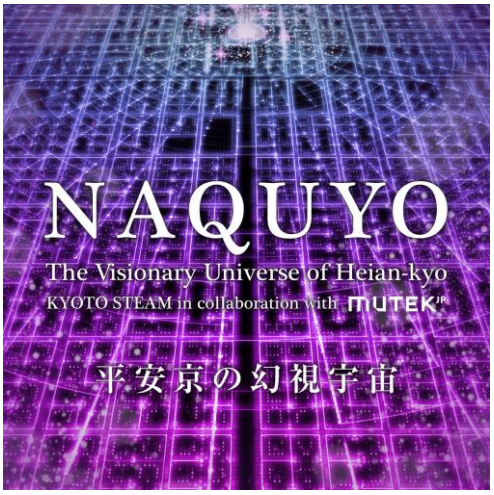
ダンサー、デザイナー、音楽家、振付家、ドラマトゥルク。京都出身。
ストリートダンスと現代アートを融合させたダンスチーム nouses（ヌゥス）を展開。音源制作を自身で行い、concrèteと位置付ける独自のダンスジャンルを確立させ、ストリートダンス・コンテンポラリーダンスの両世界大会ファイナルへの出場経験を持つ。
Groove’N’Move Festiva Switzerland ゲスト出演（2017）、THE SUPER TOUR OF MISIA バックダンサー （2018）、塩田千春展「魂がふるえる / くちないし」ゲスト出演（2019）、森山未來出演PV「PASSION」（作曲 原摩利彦）振付（2020）、清水寺奉納パフォーマンス 総合ディレクター 森山未來「Re:Incarnation」振付・ドラマトゥルク（2021）、内閣府 「JSTムーンショット型研究開発事業目標1研究開発プロジェクトイメージムービー」ドラマトゥルク・パフォーマンス（2021）。
https://www.instagram.com/nouses_kou/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org
公式WEB

「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－」とは

「**NAQUYO－平安京の幻視宇宙－**」は、様々なクリエイターや学者、エンジニアたちとの協力・共同のもと、最先端技術と文化研究を融合させ、1200年前の京都（平安京）の音と響きの仮想的な再現に挑戦するとともに、そのプロセスを広く共有することで、平安京の都市思想や世界観が現代にもたらす意義を共に考える、開かれたアート・プロジェクトです。

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマに、文化・芸術の新たな可能性と価値を京都から世界に問う文化芸術の祭典「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」を主催する**KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会**と、最先端テクノロジーを用いた音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催する**MUTEK.JP**が連携し、2020年度－2021年度の２か年にわたる共同プロジェクトとしてタートしました。



（2020年度キービジュアル）

平安京の幻視宇宙
1200年前の平安京のサウンドスケープ（音風景）創造プロジェクト

1200年前の京都（平安京）は、どのような音に包まれていたのでしょうか。

平安遷都（794年）から遡ること30年前、平城京から遠く離れた桜島の噴火の音が聞こえたという記述が『続日本紀』にあります。それは、**当時の都を包み込む音環境が、現代からはおよそ考えられないほど、清明に澄み渡るものだったこと**を意味しています。また、平安期に書かれた『枕草子』『源氏物語』『宇津保物語』などには、雅楽や声明、寺院から鳴る梵鐘の音や季節ごとに変わる虫の声、町の喧噪など、日常生活の中で聞こえてくるありふれた音が書きとめられています。これらも、作者たちの創造の源泉だったのかもしれません。

NAQUYOでは、MUTEK.JPが提供する最先端の音楽技術に加え、アンビエントミュージック（環境音楽）の旗手であるサウンドアーティスト・長屋和哉氏、MUTEK Montreal 2020にも出演した京都在住のオーディオビジュアルアーティスト・赤川純一氏、平安京サウンドスケープ論の名著『平安京 音の宇宙』で知られる音楽学者・中川真氏をプロジェクトメンバーに迎え、平安京の音環境に関する学術的な深掘りを行うとともに、電子音楽や立体音響等の最先端技術を活用した**平安京のサウンドスケープ（音風景）の創造にチャレンジ**します。

さらに、単なる音の仮想的な再現にとどまらず、平安京の音環境を見つめ直すことにより、これまで見過ごされていた**都市における音環境の重要性に光を当てていきます**。そこから五感を通じて得られる何かを、未来へのヒントにして創造力を刺激し、京都の新しい文化を耕し、育み、磨いていきます。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org
公式WEB

NAQUYOプロジェクトメンバー

メンバー：谷崎 テトラ（放送作家／KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会チーフディレクター）
長屋 和哉（サウンドアーティスト）
赤川 純一（オーディオビジュアルアーティスト）
岩波 秀一郎（MUTEK.JP）
竹川 潤一（ MUTEK.JP クリエイティブ・ディレクター）
Maurice Jones（MUTEK.JP Artistic & Communicationsディレクター）

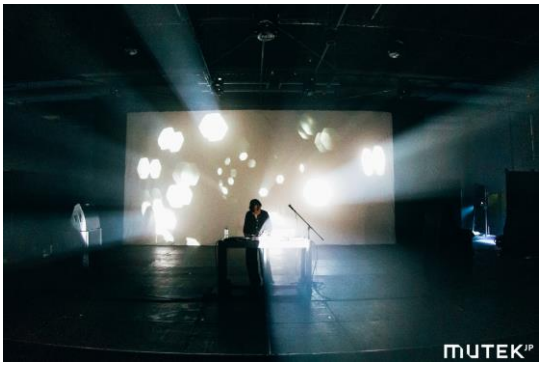
アドバイザー：中川 真（サウンドスケープ研究者／大阪市立大学都市研究プラザ特任教授）
渡辺 広之（京都芸術大学芸術教養センター客員教授）

■共同事業者

MUTEK.JP
株式会社電通京都支社

MUTEK.JPは、デジタル・クリエイティビティ、電子音楽、オーディオ・ビジュアルアートの創造性の開発、文化芸術活動の普及を目的とした、国際的に名高い芸術文化活動を行う団体である。1999年にカナダ・モントリオールからスタートした“MUTEK”は、文化芸術に関わる才能豊かな人材の発掘・育成をサポートし、常に新しいアイデアやコンテンツの創出支援をコンセプトに掲げ、自由で実験的な表現の場を提供するクリエイティブプラットフォームを構築している。
本拠地のMUTEKでは、世界各地から毎年約3万人以上の来場者がカナダ・モントリオールに訪れ、現在ではモントリオール、メキシコシティー、バルセロナ、ブエノスアイレス、ドバイ、サンフランシスコ、そして東京と、世界7ヶ国で開催される、国際的な大規模フェスティバルへと成長と発展を続けている。日本では、アジア唯一の展開として2016年にMUTEK Japan を設立し、多種多様なプログラムを通じて、様々なアーティスト・クリエーターと交流するクリエイティブ・コミュニティの機会を創出している。
https://mutek.jp/

MUTEK.JP 2019



MUTEK.JP 2018

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org
公式WEB

■チーフディレクター

谷崎 テトラ（たにざき てとら）

環境・平和・アートをテーマにしたメディアの企画構成・プロデュースを行う。価値観の転換（パラダイムシフト）や、持続可能社会の実現（ワールドシフト）の発信者&アーティストとしての活動は多岐に渡る。アースデイ東京等の環境アクションの立ち上げや、国連地球サミット（RIO＋20）等国際会議のNGO参加、SDGs、ピースデー（国際平和デー）等への社会提言・メディア発信に関わる等、持続可能な社会システムに関して深い知見と実践の経験を持つ。YouTube「テトラノオト」で持続可能性や創造性についての動画ブログを毎日更新している。

HP： http://www.kanatamusic.com/tetra/

YouTube：https//www.youtube.com/c/テトラノオト

■アドバイザー

中川 真（なかがわ しん）

アジアの民族音楽、サウンドスケープ、アーツマネジメントを研究するかたわら、「現代アートの森」芸術監督（2000-2008）、楽舞劇『桃太郎』芸術監督（2001-2008）、船場アートカフェディレクター（2004-2013）を歴任。著書『平安京　音の宇宙』でサントリー学芸賞、京都音楽賞、小泉文夫音楽賞、現代音楽の活動で京都府文化賞、アーツマネジメントの成果で日本都市計画家協会賞特別賞、ゆめづくりまちづくり賞（共同）を受賞。令和2年度に京都市が実施した新型コロナウイルス感染症拡大による芸術家等の活動状況調査では、その発案から調査設計・分析に協力する等、京都市の文化行政にも深く関わる。大阪市立大学都市研究プラザ特任教授、インドネシア芸術大学、チュラロンコン大学（タイ）客員教授。

渡辺 広之（わたなべ ひろゆき）

京都芸術大学芸術教養センター客員教授。
東武トップツアーズ株式会社 顧問兼プロデューサー、前一般社団法人DMO日光代表理事、全国地方新聞社連合会主任研究員、KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事業創発部会長。
埼玉県立浦和高校、早稲田大学政経学部政治学科を卒業後、株式会社電通に入社。1985年のつくば万博政府館、ハウステンボス、宮城県サンファンパークのテーマパーク事業、山口きらら博、横浜博覧会、全国植樹祭等のプロジェクトのプロデュースを担当。その後、ソーシャルビジネスの組織を通じ、新日本様式、JFWの日本ブランド及び観光立国(VJC)の立ち上げ、スタジアム＆都市公園の委員、観光、地域活性化の国及び自治体の委員、都市＆地域プロジェクトのプロデューサー、アドバイザーを多数経験。

協　力

学校法人瓜生山学園京都芸術大学

Ableton株式会社

TouchDesigner by Derivative

d&b audiotechnik

Panasonic株式会社

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org
公式WEB

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－とは

KYOTO STEAM
－世界文化交流祭－

アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに、未来志向で革新的なプロジェクトにより構成されるフェスティバル。「世界の未来に希望が持てる社会を構想し発信すること」をビジョンとし、フェスティバルの起点となった〈KYOTO CULTIVATES PROJECT〉の理念「京都は耕す、育む、磨く」を体現する祭典を目指しています。

アーティスト、科学者や研究者、職人や技術者、さらには子どもから大人までが参画し、企業や大学・研究機関と協働して、多彩なプロジェクトを進めており、その成果やプロセスを、展覧会、公演、トーク、ワークショップなどの形で発表します。

https://kyoto-steam.com/

※STEAM…Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(芸術)、 Mathematics(数学)の頭文字を組み合わせたもの

プロデューサー　平竹 耕三(京都産業大学文化学部教授)

取材等の申込について

取材等をご希望の場合は，下記担当までご連絡ください。
KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
担当：西田（にしだ）・水野（みずの）
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

画像の提供について

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－の広報用画像を貸し出しております。使用を希望される場合は、公式WEBの使用申込書に必要事項を記載のうえ、メールでKYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会までご連絡ください。申込受付後、3日（祝休日を除く）以内に広報用画像をダウンロードできるURLとパスワードを、メールにてお知らせします。3日間を過ぎても連絡が無い場合は、再度ご連絡頂きますようお願いいたします。

また、記事等に広報用画像を掲載される際には、作家名や作品名等を確認しますので、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に実行委員会までご提出ください。3日（祝休日を除く）程度で内容を確認のうえご連絡します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト：https://kyoto-steam.com/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・水野　TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email : info@kyoto-steam.org
公式WEB